

学校教育目標	主体的に学び、協働的に高め合う子どもの育成
育成を目指す資質・能力	主体性 協働性

児童生徒の課題	学力状況について 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・問題として問われていることを、根拠を明確にしながらか条件に応じて書くことができていない。 ・基礎的・基本的な学力の定着の個人差が大きい。 ・問題解決の考え方を図に照らし合わせて説明を書いたり、読み取ったりする力が十分でない。	学習状況について 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・自分の考えを友達と交流することができるが、全体に発言しようとする児童が固定化している。 ・自由に自分の考えを色々な表現方法で書くことができるが、目的や条件に応じて書くことが苦手である。 ・指示されたことは努力するが、学習への主体性や積極性が十分でない。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・学力、発信力への個人差が大きい。＜学習の個別化＞ ・自分の考えを積極的に全体に話すこと、目的や条件に応じて考えを記述することが苦手である。＜学びの発信力の育成＞ ・自ら課題を意識し、問題解決に向けて学ぼうとする姿が必要。＜探求力の育成＞	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・「付きたい力」を明確にして、主体性や協働性を育む授業計画(教材研究)を実施 ・「付きたい力」を意識した、「振り返り」の実施と評価 ・板書の構造化を図り、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を意識した授業の実践 ・校内研の検証授業を見る視点を3つ設定し、その視点に基づく授業実践と検証の実施と成果と課題の共有 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・基礎基本の定着を図るための計画的な金池タイムの実施 ・「書く」活動を意識化し、週末等のテーマ作文の取組・指導 ・算数科を中心に単元ごとに習熟の時間を設定し、児童の学習内容の定着を図る	

学力に関する達成指標

アンケートで「友達の考えをよく聞き、自分の言葉で説明したり、自分の考えを友達と交流したりすることができた」と回答する児童 85%以上

今後の具体的な取組	【授業改善】 〈授業改善のテーマ・重点〉 主体的に学び、協働的に高め合う子どもを育む授業づくり	【家庭・地域との協働】
	〈取組内容〉 1) 授業の中で、付きたい力を明確にし、子どもの思考にそった板書の構造化を図る 2) 授業の中で、子どもとともに課題を共有し、主体的・協働的に解決していく活動を取り入れる 3) 授業(単元)終了後に、視点(付きたい力)を意識した振り返りを書く活動を取り入れ、評価を適切に行い、児童の学びを価値付けする	
	〈取組指標〉 1) 「付きたい力」を明確にし、主体性や協働性を育む教材研究の実施 2) 進んで子どもたちが解決に向かう授業の実現のための、課題や学びの手立ての工夫 3) 授業(単元)終了後に、視点(付きたい力)を意識した振り返りを書く活動等を取り入れ、適切な評価を行う	
	〈検証指標〉 1) 児童アンケートで、「授業がわかり、進んで学習することができた」と回答する児童 90%以上 2) 児童アンケートで、「いろいろな学習問題について、粘り強く考えることができた」と回答する児童 90%以上 3) 児童アンケートで、「テーマに合わせて自分の学んだことや友達と学び合ったことについて振り返り、書くことができた」と回答する児童 90%以上	〈家庭・地域の検証指標〉 ※必要に応じて設定する。
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ①学校・学級による個別の学習支援の充実(個に応じた指導・課題) ②思考力・判断力・表現力を育む学習指導・授業実践(単元構成の中での指導の重点化を図る教材研究の実施) ③金池タイムの計画的・弾力的実施(週1～2回 「書く」指導の強化 基礎基本の定着)	